

# 大形タイル部分接着剤張り工法

大形タイル部分接着剤張り工法は、有機系接着剤（以下、接着剤）を使用して300mm角を超える大形タイルを施工するために開発された工法です。接着剤をビード塗布または点付けするため、タイルのレベル調整が容易で、タイルの落下防止対策として補助金具を併用することで、より安全な施工ができます。

## 施工条件

タイル：300mm角（面積900cm<sup>2</sup>）程度を超え、1,200mm角（面積14,400cm<sup>2</sup>）程度以下  
厚さ8～10mm程度

下地：【屋内外壁】コンクリート、モルタル、押出成形セメント板（フラットパネル）  
【屋内壁】ボード類／合板（9.5mm厚以上・2枚張り）、けい酸カルシウム板、フレキシブル板A（6.0mm厚以上・2枚張り）、石膏ボード（9.5mm厚以上・2枚張り）、ガラス繊維ネット入りセメントボード

接着剤：【屋外壁】ME-05 ※屋外壁では屋内壁用のエポキシ系接着剤（マルチEP・EPS-20ソフト）は使用できません。  
【屋内壁】MS-20、マルチEP、EPS-20ソフト

工具：ソーセージガン、振動工具（ビブラート）、バキュームリフター、シーリング材など

## タイルの割付け

- 大形タイルの施工は通し目地での施工を原則とします。
- 躯体のひび割れ誘発目地、打継ぎ目地、構造スリット、エキスパンションジョイント、モルタル下地の伸縮調整目地、押出成形セメント板の板間にタイルが跨らないように割付けてください。
- タイル目地はシーリング材を使用してください。屋内壁では伸縮調整目地、他材料との取合い部、開口部などの建具の取合い部分を除き、セメント系目地材を使用できます。
- 伸縮調整目地位置は、下地の目地、他材料との取合い部、開口部などの建具の取合い部、入隅の位置と一致させ、シーリング材施工としてください。

## 接着剤塗布条件

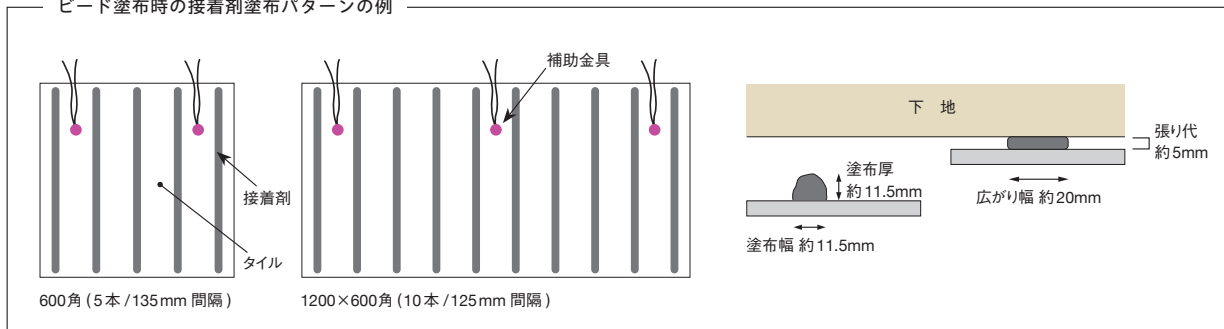
- タイルを張付ける前に、タイルの施工部位、下地状態、張り代により接着剤および塗布方法の条件を選定してください。
- ビード塗布または点付け方法で、タイル裏面に接着剤を必要な量および高さになるよう、ソーセージガンまたはヘラを使用して塗布します。
- タイル張付け後、接着剤が硬化するまで、外力が加わらないように養生してください。接着剤の塗布厚にもよりますが、中心部まで硬化するには28日以上養生期間が必要となります。

## 接着剤の塗布方法別の塗布条件

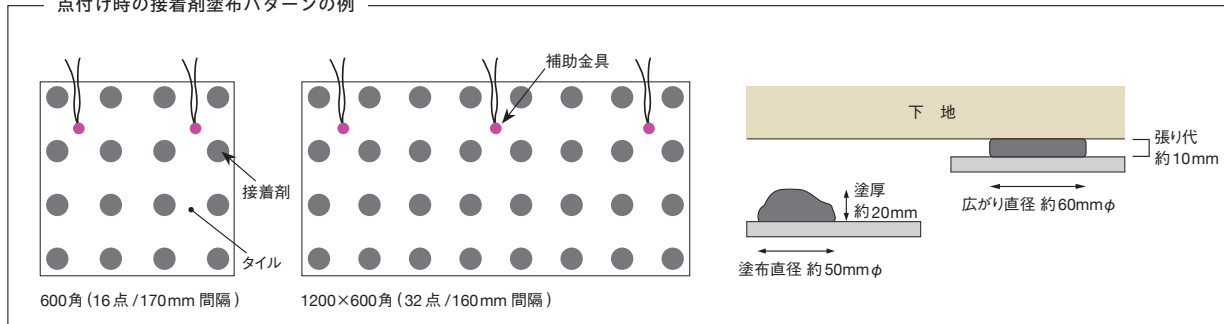
|          | ビード塗布       | 点付け            |
|----------|-------------|----------------|
| 張り代      | 3～7mm       | 15mm以下※        |
| 張付け後の広がり | 約20mm（広がり幅） | φ60mm以上（広がり直径） |
| 工具       | ソーセージガン     | ソーセージガン・ヘラ     |

※張り代は10mm以下を推奨します。

### ビード塗布時の接着剤塗布パターンの例



### 点付け時の接着剤塗布パターンの例



補助金具 落下防止対策として適切な補助金具を使用してください。

### 【緊結金具】ステンレス製

屋外壁と施工高さ 3 mを超える屋内壁では緊結金具を必ず使用してください。  
ご注文を頂いてからタイルに緊結金具を取り付けますので、納期・価格をご確認ください。  
現場での加工はできません。

| 仕様     | 加工        | サイズ (mm)      | 張り代 (mm) |
|--------|-----------|---------------|----------|
| ステン板※1 | リベット加工    | 15w×75L×0.5t  | 2~3mm    |
| ステン線   | リベット加工    | φ0.6×250 ダブル線 | 3~15mm   |
| ステン線   | SUS ネット加工 | φ0.6×250 ダブル線 | 3~15mm   |

※1 ステン板はタイルの固定強度が要求される場合に選択できます。

### 【自重受け金具】ステンレス製

施工時の位置決め、ずれ防止用として自重受け金具の取付けを推奨します。

| 品番       | 張り代※1  | サイズ (mm)<br>受け×縦×横×厚さ | 入数<br>(個/袋) | 設計価格     |
|----------|--------|-----------------------|-------------|----------|
| K-LT-7※2 | 3mm    | 7×50×30×1             | 50          | 9,000円/袋 |
| K-LT-10  | 3~5mm  | 10×50×30×1            | 50          | 9,000円/袋 |
| K-LT-15  | 5~10mm | 15×50×30×1            | 50          | 9,500円/袋 |

※1 張り代が 10mmを超える場合は、張り代に応じた自重受け金具を別途ご用意ください。

※2 K-LT-7は薄型大判タイルでも使用できます。

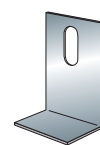
〈ステン板 リベット加工〉 〈ステン線 リベット加工〉 〈ステン線 SUS ネット加工〉



〈リベット断面〉



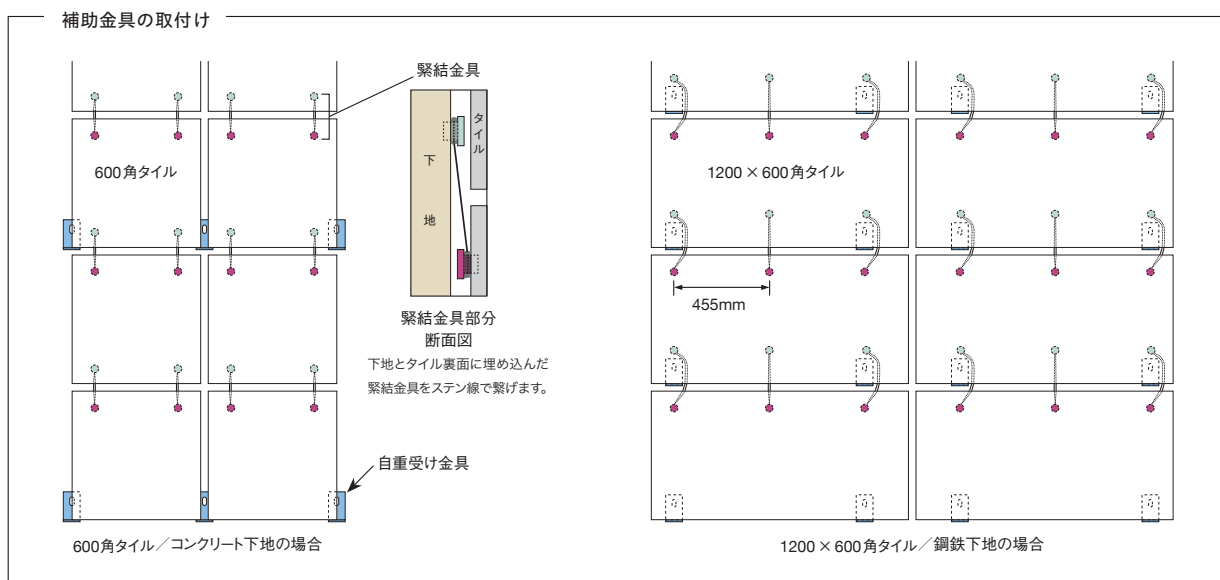
〈自重受け金具〉



長穴 5×20mm

### 補助金具の取付け

- 自重受け金具は原則として高さ方向 1.5m 以内毎に設けます。水平方向は下地 (柱) 位置に合わせてください。また、900 角を超えるタイルを施工する場合は、タイル 1 枚毎に 2ヶ所以上設けてください。
- 屋内壁施工時は、緊結金具をタイル 1 枚毎に取付けることを推奨します。ただし 3m を超える高さに施工する場合、また屋外壁に施工する場合はタイル 1 枚毎に必ず取付けてください。
- 緊結金具を取付けるための下穴を、自重受け金具と重ならない位置に開けてください。緊結金具の下地への固定はタイル張付け後行います。



### タイル張り

- タイル裏面の埃、アルミナ、傷防止緩衝材等を除去してください。
- タイルの張付けは、最下段から張り上げる積上げ張りとしてください。
- 接着剤の一回あたりの塗布面積は、張付け可能時間内に張り終える面積としてください。
- プロセス検査 1 / タイルを張付ける前に、事前に設定した接着剤の塗布条件で接着剤が塗布されているか確認してください。
- 自重受け金具または位置決め用の固定支持台にタイルを載せます。
- タイルの張付けは、タイルを揉み込んだ後、設定した張り代まで振動工具 (ビブラート) で接着剤をよく馴染ませながら圧着してください。
- タイル位置の微調整はバキュームリフターを用いてタイルをずらしてください。
- 上段に施工するタイルは、自重受け金具の使用または下段タイルの上にスペーサー等を置き、目地幅を調整してください。
- プロセス検査 2 / タイル張付け開始時 (午前、午後) にタイルを剥がして付着状況を確認してください。

※施工方法について別途詳細資料を用意していますので、お問合わせください。